

カ ラ ス マ

N E W S



烏丸通まちづくり協議会

2016. 3 vol.01

INTERVIEW

中西 真也 NAKANISHI SHINYA

株式会社リーフ・パブリケーションズ代表取締役
京都商工会議所 議員
京商クリエイティブビジネス研究会 委員長
烏丸通まちづくり協議会 広報企画部会 部会長



カラスマ NEWS では、会員企業様のインタビューを毎号掲載していきます。記念すべきお一人目は、月刊誌「Leaf」でおなじみの、株式会社リーフ・パブリケーションズ中西社長にお話をお伺いしました！

一月刊誌「Leaf」は創刊 20 周年を迎えられましたね。

情報誌が乱立する 96 年に創刊して 20 年になりました。京都ブームも手伝って好調な時期もありましたが、08 年頃からリーマンショックの影響もあって、雑誌はメディアの中で一人負け状態。今はライバル誌が殆ど休刊してしまいました。貴重な京都の情報誌となりましたから、京都市長からも「頑張って続けて欲しい」と言われています。

ーリーフは女性社員がとても多いですね。

女性は能力が高いし、女性社員が多いと会社が華やかになります。これは「まち」も同じで、たくさんの女性が働くまちは、カフェやフラワーショップが増えて、雰囲気が華やいだものになりますよね。こうした女性にとっての「サードプレイス」が多くあるまちは、センスと活力が備わります。そういう意味では最近、烏丸界限はいい雰囲気になってきたと思います。

ーそんな烏丸のまちづくりを行ううえで、協議会の役割についてはどうお考えですか？

烏丸通の歩道舗装は、通りのポテンシャルにマッチしたクオリティにすべき。この点では、協議会が音頭を取って地元の自治連合会さんと共に京都市に要望書を提出し、より良い通りとするために京都市と継続して協議を行っていくこととなりました。こういった取組は大切です。

とにかく、できることからやるのが重要。個人的には、「歩いて楽しいまち京都」を烏丸通がリードしていくくらいの気概で協議会の活動も進めたい。そのためにも、もう少し協議会が色々な場で影響力を持てるように、努力したいですね。一何ごとにも意欲的な中西社長ですが、息抜きはどのようにされていますか？

とにかく一人の時間を大切にしています。烏丸界限でもよく一人飲みますよ。この 2~3 年で烏丸界限の飲食店のレベルは上がったし、特に若い世代の経営する飲食店には美味しいところが増えました。ぜひ、試してみてください。



烏丸三条にある月刊誌「Leaf」編集部

pick up!

会員企業さんのイチオシ社員をご紹介いただく「pick up!」。トップバッターは(株)リーフ・パブリケーションズ Web Leaf 編集部の本木ふみさんに、お仕事や烏丸通について話していただきました!

「Leaf」web 版の「Web Leaf」の編集作業を担当しています。雑誌は印刷工程へ進むと同時に手を離れてしまいますが、web は随時更新ができるので、細かい編集作業がずっとあって、そこが長所でもあり短所でもありますね。失敗もしますが、うちの社は社員同士の垣根が低くて、先輩たちにも相談しやすいので助かっています。烏丸通の印象ですか? うーん…。いい意味で大人の雰囲気のみち、って感じがします。休日には故郷の愛媛から仕事で出てくる両親と、界限で食事などしたりもしますよ!



【治道施設体験見学会を開催しました】



いけばな体験の様子

会員交流部会では、3月4日(金)、「六角堂頂法寺・華道家元池坊総務所」にて治道施設体験見学会を開催し、多くの会員の皆さんにご参加いただきました。

池坊総務所の方のご案内で、いけばな発祥の地である六角堂や、いけばな資料館を興味深く見学したあとは、「いけばな体験」に挑戦!

いけばなが初めてという方が殆どで、最初は皆さん戸惑い気味でしたが、講師の方のわかりやすいレッスンのおかげで、笑顔あふれる体験となりました。

その後は烏丸三条の「伊右衛門サロン」に場所を移して交流会を開催し、日本茶を使った珍しいお酒を堪能しました。

協議会では、平成28年度も施設見学会を計画しています。会員の皆さんのご参加をお待ちしております。

i 烏丸通まちづくり協議会の Facebook も随時更新中。ぜひ、FB も御覧いただき、「いいね!」をお願いします。

烏丸通まちづくり協議会とは

- 烏丸通が京都のメインストリートにふさわしい、風格と華やぎを備えた、交流が豊かで格調高い通りになることを目指し、様々なまちづくり活動を行っています。
- 新規会員を随時募集中です。ぜひ、お知り合いをご紹介ください。

編集後記

「会員さんの目に留まる広報誌」を目標に創刊した本誌。少しは楽しんでいただけたでしょうか? インタビューにご協力いただいた「Leaf」編集部の皆さん、ありがとうございました。校正もお手伝いいただき、感謝、感謝です。次はどこにお邪魔しようか考え中。編集の苦勞をすっかり忘れ、会社訪問がひそかな楽しみになりそうです… (T)

